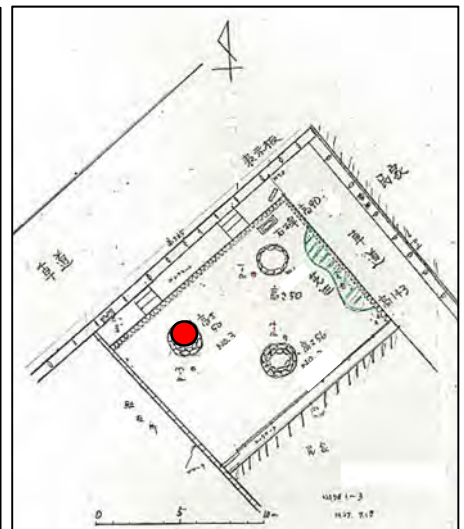


伊舎堂の3本ガジュマル



認定番号 78-3

樹種名	ガジュマル	科名	クワ科	方言名	ガジュマル	学名	Ficus microcarpa. L.f.					
形状・寸法	樹高 6.0 m	胸高周囲 1.6 m	根本周囲 2.4 m	樹幹占有面積 92 m ²								
	枝下高 2.2 m	枝張 東 3.6 m 西 4.9 m	南 2.2 m 北 2.5 m	最大樹冠幅 8.5 m								
通称	伊舎堂前の3本ガジュマル			樹齢	年(推定)							
所在地	中城村伊舎堂194			所有者	1 国 2 県 3 市町村 4 その他公有 5 社寺 6 個人 7 会社 8 その他民有 9 不明							
立地場所	1 公園 2 庭園 3 個人の庭・屋敷 4 公共施設 5 学校 6 神社寺院 7 拝所 8 市街地 9 街路 10 その他 (史跡)			状況	1 単木 2 樹叢中 3 樹林中 4 その他							
保護制度	1 国指定天然記念物 2 県指定天然記念物 3 市町村指定天然記念物 4 景観重要樹木 5 保存樹(村文化財 1997年3月指定) 6 名木 7 その他 8 なし			気象条件	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
					平均気温(°C)	16.6	16.8	19.0	22.2	24.9	28.7	
周囲の状況	1 樹林 a 大面積山林 b 小面積山林 2 芝地 3 耕地 4 建物の間 5 道路 6 河川 7 湖沼 8 その他 ()			(最寄りの7マスデータ)	風向	N	N	N	SSE	SSW	SSW	
					月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
土地傾斜	1 平坦(0~5°) 2 緩(5~15°) 3 中(15~30°) 4 急(30~45°) 傾斜方向:			2015年	平均気温(°C)	29.0	28.7	27.8	25.5	23.8	20.1	
					降水量(mm)	369.0	278.0	46.5	63.5	95.0	73.0	
土壌	1 堆積土 2 切り土 3 盛土 4 客土 5 その他 ()			年平均気温	23.6 °C		最高気温 33.8 °C					
					年降水量	1425 mm		最低気温 9.6 °C				
基岩・母材				潮風の影響	1 なし 2 ややある 3 ある 4 やや強く受ける 5 強く受ける(特記)							
地形	1 山地 2 丘陵地 3 台地 4 平地 5 尾根 6 中腹 7 谷 8 窪 窪 9 カルスト 10 埋め立て地 11 海岸段丘 12 その他			日照条件	1 良い 2 普通 3 やや不良 4 不良							
				周辺樹木の影響	1 なし 2 わずかにある 3 ある 4 かなりある 5 深刻((状況))							
土性	1 砂壤土:大部分が砂で僅かに粘土を感じる 2 壤土:砂と粘土が半々 3 埴壤土:大部分粘土で僅かに砂を感じる 4 埴土:ほとんど砂を感じない			周辺根元の状況	1 土壌の固結がなくきわめて良好 2 固結はあまりなく概ね良好 3 固結している a 踏圧あり b 踏圧なし							
				周辺樹木との関係	1 影響なし 2 僅かに影響を受けている 3 かなり影響を受けている 4 深刻な影響を受けている							
根元及び周囲の植生	草本 1 密生 2 疎 3 なし 低木 1 密生 2 疎 3 なし											

管理状況	1 柵 a 有 b 無 (有の場合の高さ m、材質) 柵内面積 (m ²) 設置年 2 支柱 a 有 b 無 3 剪定 a 強 b 弱 c 無 d 枝折等の都度処理 4 施肥 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 5 薬剤散布 a 有 b 無 (有の場合 回数 種類) 6 解説板 a 有 b 無 7 避雷針 a 有 b 無 8 定期的な草刈・掃除 a 有 b 無 9 その他										
過去の治療歴と内容											
故事来歴	1 無 2 信仰対象 3 禁忌(タブー) 4 祭事 a 有 b 無 5 いわれの内容 移住記念木 6 不明										
視認性	1 遠方からも目立つ 2 近くに行けば見える 3 直前まで見えない 4 敷地内にはいるとよく見える 5 敷地内に入っても見えない (理由)										
特記事項	1 動物生息 a 有 b 無 (有の場合動物の種類) 2 着生植物 a 有 b 無 (有の場合植物の種類 オオイタビ、ヘクソカズラ、クワズイモ) 3 見学・参観者 a 有 b 無 (有の場合その数) 4 その他 観光スポット										

地上部の衰退度判定（認定番号78-3）

評価項目	評価基準				
	0	1	2	3	4
1 樹勢	旺盛な生育状況を示し被害が全く見えない	幾分影響を受けているが、あまり目立たない	異常が明らかに認められる	生育状況が極めて劣悪である	殆ど枯死
2 樹形	自然樹形を保っている	若干の乱れはあるが、自然樹形に近い	自然樹形の崩壊がかなり進んでいる	自然樹形がほぼ崩壊し、奇形化している	ほとんど完全に崩壊
3 枝の伸長量	正常	幾分少ないが、目立たない	枝は短くなり、細い	枝は極度の短小、シヨウが状の節間がある	下からの萌芽枝のみ僅かに生長
4 梢や上枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い	著しく多い	梢端がない
5 下枝の先端の枯損	なし	少しあるが目立たない	かなり多い、切断が目立つ	著しく多い、大きな切断がある	ほとんど健全な枝端がない
6 大枝・幹の損傷	なし	少しあるが回復している	かなり目立つ	著しく目立つ大きく切断されている	大枝・幹の上半分がかけている
7 枝葉の密度	枝と葉の密度のバランスが取れている	0に比べてやや劣る	やや疎	枯死が多く葉の発生が少なく、著しく疎	ほとんど枝葉がない
8 葉の大きさ	葉が全て十分な大きさ	所々に小さい葉がある	完全にやや小さい	全体に著しく小さい	僅かな葉しかなく、それも小さい
9 樹皮の傷	傷はほとんどなし	穿孔・傷が少しあるがあまり目立たない	古傷がある	傷からの腐朽が著しい	大きな空洞、剥がれがある
10 樹皮の新陳代謝	樹皮は新鮮な色をしていて新陳代謝が活発	普通	樹皮に活力がない	著しく活力がない	樹皮の大部分が枯死
11 胴吹き・ひこばえ	枝は量が多く胴吹きひこばえもない	枝葉量が多いが胴吹き又はひこばえもある	枝葉量が少なく胴吹き、ひこばえがある	枝葉量が極めて少なく、胴吹きひこばえが多い	枝葉量が極めて少なく胴吹き、ひこばえも少ない

衰退度 = 各項目の評価値の合計 / 11 (評価項目) = 2.09

衰退度判定基準

衰退度区分	I	II	III	IV	V
		0.8未満 良	0.8~1.6未満 やや不良	1.6~2.4未満 不良	2.4~3.2未満 著しく不良

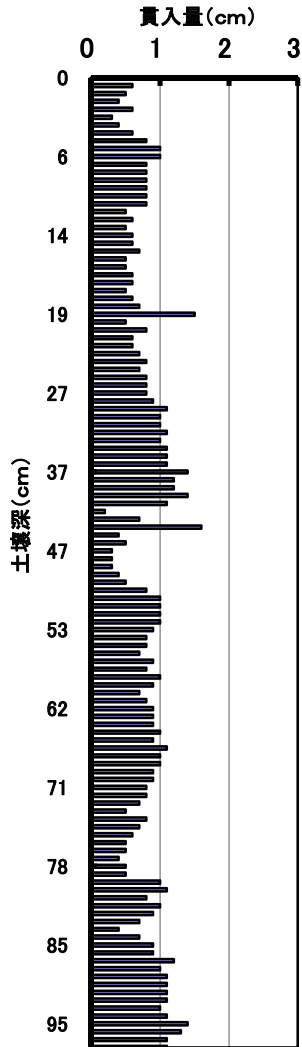
倒木・枝折れ等危険度判定

項目	判定			
	安全	可能性あり	可能性高い	明らかに危険
通行者・建物等との位置関係	○			
根返り	○			
幹折れ	○			
大枝折れ	○			
中・小枝落下	○			
幹の傾斜の増大	○			
その他				

土壤調査結果 (認定番号 78-3)

層位	土壤色	深さ	構造	土性	pH	EC(dS/m)
I	10YR8/4	0-20	—	砂土	9.1	0.7
II	10YR6/2	20-	—	砂土		

土壤貫入量結果



認定番号 78-3

伊舎堂の3本ガジュマル

部位	所見	対応
土壌	<ul style="list-style-type: none">・土壌の厚さは1m以上ある。・土性は砂土である。・表層に踏圧による固結が見られる。・pH:9.1,EC:0.7(dS/m)。	<ul style="list-style-type: none">・樹勢の回復は期待できないため伐倒焼却処分を検討する。・78-2 への感染を防止するため、当該木の根を除去し、78-2 と当該樹木の間幅 60 cm、深さ 1m 程度の溝を掘り、溝の表面に厚手のビニールシートを被せる等の対応が望ましいと考える。
根	<ul style="list-style-type: none">・南根腐病の標徴が数ヶ所で見られ感染が認められる。	
幹	<ul style="list-style-type: none">・双幹木。うち1本は枯死したため、分岐部上方1m から切断。・根～幹下部にイチジクカミキリの食害痕、脱出孔が見られる。	
枝	<ul style="list-style-type: none">・残存する幹の大枝は枯死。中～小枝の枯れが進行しており、活力の低下は著しい。	<ul style="list-style-type: none">・倒伏、落枝が懸念されることから早期の伐倒処理を検討する。
葉	<ul style="list-style-type: none">・着葉量はやや乏しく、かつ葉が小さい。	-
備考	<ul style="list-style-type: none">・撤去後、数年間はこの場所に樹木を植栽しない方が良いと考える。	

